

活動地の様子



【村の一般的な民家】

診療所までは徒歩で数時間かかり、病気になっても受診が遅れがちです。自宅出産する女性が危険な状態に陥っても診療所へたどりつけません。そこで病気の予防方法を人々に伝え、母子の健康状態を把握して診療所とのつなぎ役となる人が必要です。その役割を担うのが、コミュニティ・ヘルス・ワーカー(CHW)です。



【住民が水を汲んでいるため池】

多くの住民が、このようなため池で生活用水を汲んでいます。池の周りには動物の糞も落ちており、飲用に適した水ではありません。健康を守るためには、汚染された水が病気の原因になることや、より衛生的な水を得る方法を、人々に知らせ・広めることが必要です。こうしたことも CHW の役割のひとつです。

活動の様子



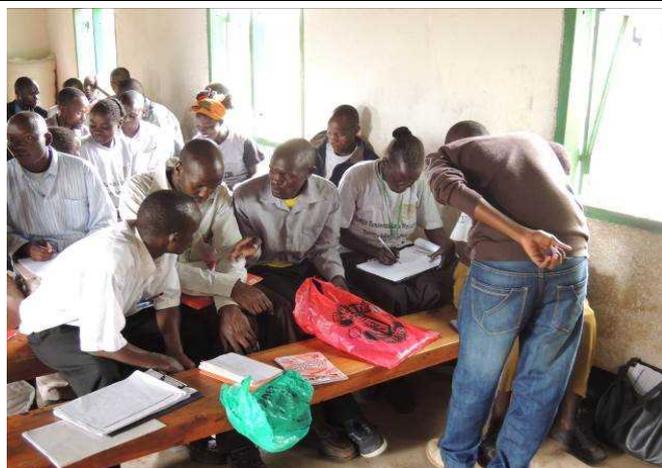
【コミュニティ・ヘルス・ワーカー(CHW)育成研修】

CHW たちは、衛生や病気の予防、安全なお産や栄養などについての講義を受け、基本的な保健の知識を身につけていきます。



【家庭訪問】

CHW たちは月に一度、担当の家庭を訪問し、村の人々の健康状態や生活環境について話を聞き、病気の予防方法など、健康な生活を送るための情報を伝えます。



【月例活動報告会議】

CHW たちは月に一度、家庭訪問の結果や一か月間の活動の内容をスーパーバイザーに報告して、活動に関するアドバイスを受けます。また、地域の健康問題についても話し合います。



【住民向け啓発活動】

CHW たちは3か月に一度、地域の住民に向けて、健康問題を解決するための啓発イベントを行っています。写真では身近な材料でできるトイレの作り方を説明しています。